

(4) ①様式第4号-2 (報告書)

※文字の大きさは Meiryo UI /12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS カフェ報告書	実施機関名・連携機関名 実施機関名：佐賀大学大学院学校教育学研究科（教職大学院） 連携機関名：佐賀県教育委員会、佐賀市教育委員会、西九州大学、佐賀県教育センター
※ 機構記入欄 No. : -	セミナー名：【NITS カフェ in 佐賀】 主タイトル：「学び続ける教員セミナー」 副タイトル：～育成指標に基づく資質能力の向上～
テーマ： ※課題やテーマをどのように設定しましたか？視点などを含めて記載してください。 佐賀県では、教員の大量退職時代を迎え、若手教員が増加する中、教員の養成・採用・研修を通じた不断の資質能力の向上が求められている。昨年、本県においても各ライフステージに応じた「教員育成指標」が策定され、教職大学院と県教育委員会を含む大学との連携・協働の強化がより一層求められるようになった。そこで、本セミナーでは、講演を通じて、兵庫教育大学の事例をもとに、教員としてどのように学び続けることができるのかをテーマに考えるセミナーとする。 また、本学の教職大学院修了生は、全員が佐賀県の教員として勤務しており、本セミナーはそのフォローアップ研修も担う。グループワークでは、修了生がテーブルファシリテーター役を担い、佐賀県の教員としての資質能力の向上について参加者同士が語り合い、議論を深める場とする。	
内容： ※全体発表の内容をテープ起こしするなど、具体的に記載してください。カフェの様子は、写真を右に貼り付けてください。 本セミナーは 2 部構成とし、令和元年 12 月 21 日（土）に佐賀大学で実施した。 第 1 部 講演 『教員のライフステージと学び続ける教職員像』 兵庫教育大学 川上泰彦先生 職場での学びと大学（院）での学びについて位置づけや性質の違いから捉えることで理解する。また、教員の雇われ方・働き方の違いから「葛藤」が生じるが、それを解決するために「学び続ける」ことの必要性を提起された。さらに、「研修」という言葉には「研究」が含まれており、「研究」と「修養」の意味であることから、本来の「研修」の復権の必要性についてもご講演された。 第 2 部 ワークショップ 第 2 部では、本学教職大学院の上野景三教授がファシリテーターとなり、第 1 部の講演に関する質問や意見などを付箋に書き出し、各グループ内で共有した。その後、学び続けるために必要なことについて、グループで活発に意見交換を行った。グループごとに全体発表を行った後、佐賀県教育委員会教育振興課長、佐賀市教育委員会学校教育課長、西九州大学子ども学部長より、研修立案・人事・管理監督・養成機関等のそれぞれの立場から講評をいただいた。	
成果： ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。 参加者全員が「とてもよかった」または「よかった」と評価しており、大好評だった。講演では「学び続けることについて、自己研鑽など本人の意欲任せだけでなく、大学院派遣研修や異動などによる外からの働きかけ、校内人事による職場での職能成長など、様々な機会を通して、長期的に力量形成していく仕組みがあることがわかった」「学び続ける目的が明確になった」「あらためて考える機会になった」などの感想があった。また、ワークショップでは「教員経験年数の違う先生方と有意義な意見交換をすることができ、刺激を受けた」「普段の研修と違い、アットホームな雰囲気に参加できた」などの声が聞かれた。	
アイデアや工夫したこと： ※3～5 つ程度の箇条書きしてください。 <ul style="list-style-type: none">・名前札を準備し、校種や所属学校名やグループ番号も記載し、交流が深まるようにした。・ワークショップでは「えんたくん」という丸型段ボールを膝にのせて活動することで、参加者同士の距離感が近まって交流しやすい雰囲気になり、活発な意見交換が行われるように工夫した。・各グループに、教職大学院修了生や現職派遣院生を配置し、討議が円滑に進むようにした。	

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）。

第1部 講演『教員のライフステージと学び続ける教職員像』

講師の川上先生



第2部 ワークショップ（ファシリテーター 上野景三先生） 「えんたくん」を使ったグループ討議



各グループの発表



講評の様子



各グループの発表

